

地域発きらめき事業(1支所1モデル事業)

地域毎に抱える課題について、地域の実情に最も詳しい支所長が地域の皆様と協働し、発案した地域の課題や活性化に資するモデル事業を、本年度から3か年事業として実施しております。事業開始から半年が過ぎ、各事業は、概ね順調に進捗しております。

【篠ノ井支所】

篠ノ井まちぐるみ AC 長野パルセイロ 応援プロジェクト

AC 長野パルセイロを盛り上げるため、街中をチームカラーであるオレンジ色に染め上げることで、歩いて楽しめるまちづくりを行うもの

- ◆篠ノ井オレンジロードの植栽管理で区画責任を持たせた「管理サポーター制度」の導入、統一感のある管理へ
- ◆8月21日「夏のパルセイロ応援フェスタ in 篠ノ井」を開催、新たに作成したパルセイロ応援バナー、横断幕のお披露目とパルセイロ選手とバナー掲出イベントの実施



【松代支所】

杏(アンズ)スイーツによる地域活性化事業

地域特産のアンズを生産者、菓子製造事業者が研究会を組織し、杏を用いたスイーツの開発及び販売を行うもの

- ◆杏栽培の NPO 法人と菓子製造3事業者による実行委員会で、パッケージ、ロゴの共通化と童謡のイメージがわく土産として、試作品を製造し、9月から試験販売を始めた。



【若穂支所】

ジビエ振興による地域おこしと有害鳥獣駆除のモチベーションアップ事業

チラシ・冊子の作成など地区内外に向けたジビエの啓発に努め、ジビエの新商品開発や販売促進を行うもの。併せて、食肉加工施設の充実と猟友会の後継者育成を実施するもの

- ◆若穂地区住民自治協議会からの推薦を受けたメンバーにより、9月23日、地域発きらめき事業若穂地区実行委員会を設立。既存の食肉加工施設に冷凍設備の設置、ジビエメニューの開発、ジビエツアー・フェアの開催など、今後の方針を決定した。



【川中島支所】

市民菜園を核とした新たなコミュニティづくり

遊休農地を活用した市民菜園を開設するため、実施団体を設立。開設後は、菜園を利用した収穫祭などを開催し、新たなコミュニティづくりを図るもの

- ◆実施団体となる NPO 法人の設立総会を6月14日に開催。定款等を承認し、8月5日に県へ NPO 法人認証申請、約3か月で認証予定

【更北支所】

更北地区の新たな核(拠点)づくりを通じた地域活性化事業

八幡原史跡公園で市立博物館と連携し、軽トラ市で農産物等を販売するなど新たなイベントを開催するもの

- ◆公園を中心とした地区内の史跡等をめぐるためのサイクリング自転車の貸出を関係機関と協議し、9月に公園内に7台配置。秋から本格的に博物館と連携した各種イベントを開催予定



【七二会支所】

里山整備事業

里山の間伐作業により発生する伐採木の有効的な活用方法を検討し、伐採・搬出・販売等の一連の仕組みを構築するもの

- ◆作業に必要なダンプ式軽トラックの導入とチェーンソー、ロープウインチを購入した。作業用の資機材を整えることで、樹木の伐倒作業、玉切り作業及び運搬作業を効率的に実施している。

また、定期的に薪ストーブ事業者へ薪原料を納入するとともに、独自に薪の生産とインターネット等による試験販売を開始した。



【七二会支所・小田切支所・中条支所】

中山間地域の交通再編モデル事業

日常生活に不可欠な交通手段の確保を図るため、中山間地域の特性にあった、地域に根ざした公共交通の再編の調査・検討を行うもの

- ◆交通工学を専門とする柳澤長野高専教授の研究チームの協力を受けて3地区毎に企画。地区毎にアンケートやワークショップを行い、それぞれの運行計画を策定する予定



【信更支所】

やまのぶブランドを活用した地元の活性化事業

やまのぶブランドのりんごや田野口の種籾米などを活用した特産品の開発、販売を検討するもの

- ◆実施団体「りんごの里 信更」を4月に設立。会則等を決定。先進加工施設の視察を行い、加工施設の場所を選定し、次年度以降の事業計画を検討

【古里支所】

三才駅かわいい化プロジェクト ～キャラクター本格スタート大作戦～

着ぐるみを製作し、三歳の記念として三才駅を訪れる子どもたちと一緒に写真撮影など行うもの

- ◆清泉女学院大・短大にキャラクターの原案作成を依頼。駅名にちなんだ名前「サイまる」の着ぐるみを製作し、8月7日にお披露目を行い、9月11日から三才駅に出発中



古里未来楽校(FuFuFu)の開校

地域活動の担い手の育成に向け、人材育成の講座を開催するもの

- ◆楽校長に地方自治論が専門の長野県短期大学野口助教をお迎えし、地元の史跡めぐりや箱膳体験、まちづくりについてのワークショップなど、年5回(5月、7月、9月、11月、2月)の講座を実施予定



【柳原支所】

生活支援プロジェクト

地元の地域支え合い活動の充実や高齢者世帯への学生の受け入れなどを検討するもの

- ◆新たに、タブレット端末を活用した小学生の自学学習支援を取り入れることを決定し、住民自治協議会内に実施組織を設立すべく協議をしている。

【浅川支所】

里山整備団体育成事業

里山整備活動の母体となる組織づくりを行い、間伐材の利活用、販売等を検討するもの

- ◆10月1日、実施団体の「あさかわの里山と森を守る会」を設立、規約や活動内容を決定

【大豆島支所】

環境モデル地区推進事業

ごみ焼却施設がある地区として、「ごみの減量」を発信することで、環境問題に取り組む姿勢と住民意識の更なる向上を目指すもの

- ◆8月下旬から全7区で、段ボール箱を使って手軽に生ごみを堆肥にする「ダンボールコンポスト」について学ぶ講座を実施。140人を超える受講者。このほか地域の中学校にご協力いただき作成する独自マイバッグや不用品を扱う「おさがり市コーナー」の開設を順次実施予定



【朝陽支所】

AC長野パルセイロ・御当地企業と連携した「朝陽市場」開設支援事業

「朝陽市場(農産物販売)」の開設による地域内交流事業を実施。また、遊休農地を活用し、菊芋を栽培、農業体験、収穫祭など交流事業を実施。栽培した菊芋で焼酎を作り、地域内販売をするもの

- ◆4月に地区内の畑30アールに菊芋の植え付けを行い、11月に収穫体験などのイベントを開催予定。また、合同会社を設立し、収穫した菊芋で焼酎を委託製造、来年3月以降販売予定。このほか地元産の農産物を地区内の企業やAC長野パルセイロの協賛、協力を得る中で、イベント時に販売している。



【若槻支所・三輪支所・吉田支所】

妊娠・出産包括支援(ながの版ネウボラ)事業

母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て支援の実施や講座を開催し、妊娠から出産、育児までの切れ目ない支援を図るもの

- ◆4月から吉田保健センターにコーディネーターを1名配置し、相談業務を実施。3地区でそれぞれ広報活動等により周知



【長沼支所】

文化財等を活用した地域活性化事業(地宝・地活)

長沼城の遺構、一茶の遺墨、その他地域内の文化財等を調査し、地域の宝として保存、活用(展示)などを検討し、複合的かつ中長期的な「地域づくり計画」を策定するもの

- ◆地区内の自然や文化が感じられる風景を「ながめま百景」に選定するため、写真を募集中。このほか事業を主体的実施する組織として、住民自治協議会内に地域振興部会を9月26日に設置。住民自治協議会役員を中心に検討会議を開催し、事業の進捗管理を行っている。



【安茂里支所】

空き家調査支援事業

地域の空き家調査を行い地区の環境衛生・防犯等に役立てるもの。また、所有者に対し、空き家バンクへの登録の働きかけを行うもの

- ◆建築指導課が全市的に取組んでいる同調査について、協力をする中で地区独自の空き家の活用を検討

【小田切支所】

信州大学が同地区で行う地域戦略プロフェッショナル・ゼミ「中山間地域の未来学」での活動成果を受けて、地区での新たな取り組みへの動機付けとなるネットワークづくりを進める。

空き家等を活用した一人暮らし高齢者共同生活所事業

冬期の高齢者共同生活所の設営を目指し、ニーズ調査を行うもの

- ◆全世帯を対象に意向調査を実施。意向調査では、利用を希望する方が多く見受けられるものの、施設の整備状況により意向が異なる可能性があることから、地区説明会を開催し、利用者のニーズを調査中

空き家を活用した大学生用貸家の運営事業

大学生を地区に呼び込むためのPRを行い、大学生に貸し出す空き家の調査、整備を実施するもの

- ◆3月から信州大学工学部と本事業について、協議してきたが、小田切地区への大学生の居住の見込みが立たないことから、連携協議が終了となり、事業を進めることが困難となっている。

【芋井支所】

田舎暮らし体験施設を活用した地域活性化事業

長野青年会議所と連携し、古民家を活用した田舎暮らし体験事業を実施するもの

- ◆これまで、長野青年会議所が主体となり運営してきた田舎暮らし体験施設「ヤングブルー(YB)村」を、今後地域が引継いでいくため、規約等を整備し「YB村運営委員会」を10月13日に設立



【豊野支所】

豊野地区避難誘導計画書の整備事業

地区避難誘導計画書を作成し、住民へ配布するもの。また、千曲川や浅川が越水したときに、適切な避難行動が取れるよう、地区内の電柱に堤防高表示看板を設置するもの
※千曲川は小布施橋左岸、浅川は大道橋右岸・小瀬橋左岸の堤防との高低差を表示

- ◆住民自治協議会が主体となって計画の策定委員会を5月に設置。地図データの入力作業を実施。(土砂災害警戒区域、浸水想定区域など)
- ◆7～9月にかけて、各地区へ地区内の避難施設や危険箇所等について調査を依頼
- ◆9月に千曲川河川事務所・浅川改良事務所等の関係機関と協議、設置箇所の電柱について調査を実施



【戸隠支所】

戸隠観光施設リアルタイム情報発信事業

主要観光地の混雑状況や戸隠連山の状況(四季の変化や天候等)をリアルタイムで確認できるよう、インターネットを通じて10分間隔で、ライブ映像(静止画像)を情報発信するもの

- ◆8月から戸隠観光協会ホームページ内に「戸隠ライブカメラ」の専用ページを開設。5箇所のウェブカメラ(戸隠鏡池から望む戸隠連山(西岳)、戸隠キャンプ場から望む戸隠連山(九頭竜山)、戸隠神社中社広庭、戸隠神社宝光社参道、戸隠神社奥社参道)で撮影した静止画像を配信中

【鬼無里支所】

鬼無里地区美しい農村を守るプロジェクト(愛称「きらめき鬼無里」)事業

主要幹線道路沿線の荒廃農地を再生し、えごま・ふきなどの特産物の栽培を行い、作付面積の拡大を図るもの。また、菜の花の栽培を行い景観形成を図るもの

- ◆4月に実施主体となる「きらめき鬼無里」を設立。6月25日、地域間交流先の住民(第1地区、吉田地区)とえごま定植イベント実施。秋には、収穫し、えごま油の製造、販売を検討。また、景観形成作物として、菜の花を栽培する予定



【大岡支所】

移住者に対する農作業体験への支援事業

地域サポート組織を構築するとともに農作業体験を希望する移住者への機会を提供するもの

- ◆全10地区で、農作業サポート組織設立に向けて、各種団体と協議調整を継続。地区での説明会は9月末までに実施済



地域内道路環境整備事業

地域住民だけでは道路の維持管理が困難になっているため、道路のトータル的な維持管理を市で行い、住民の道路維持作業の負担軽減を図るもの

- ◆5月請負事業者決定。契約内容:大型草刈機 延べ23日間、維持修繕工事 延べ20日間



【芹田支所】

芹田地区子育てルーム開放事業

子育てに悩む親が気軽に集まることが出来る子育てルームを身近な地域公民館に開設するもの

- ◆6月から日詰区で月2～3回、7月から栗田区で月2回実施。ほかの区についても順次実施予定

【古牧支所】

介護予防、日常生活支援総合事業モデル事業

- ・公民館等で行う運動を通じた高齢者の介護予防プログラムを実施するもの（介護予防生活支援サービス事業、地域介護予防活動支援事業）
- ・生活支援コーディネーターの役割を担う地域福祉ワーカーの活動を支援するもの（生活支援体制整備事業）

- ◆4月から地域福祉ワーカーを一人配置。また、通所サービスを月4回実施



【信州新町支所】

羊肉(サフォーク肉)中間処理技術研修事業

羊肉処理技術者を育成するための研修会を開催するもの。また、技術継承のための映像資料を作成するもの

- ◆4月19日、第1回中間処理技術講習会実施。イベント時期に合わせて年4回実施予定



羊とのふれあいの場創出プロジェクト事業

「ひつじの町」としてのPRを行うとともに、羊とのふれあいや各種体験イベント等を実施するもの。また、羊を間近かで見ることができるふれあい牧場の整備を実施するもの

- ◆6月18日、「羊とのふれあい体験と羊毛加工体験」を信州新町観光協会が実施。募集定員25名に対し、42名の参加。
めん羊ふれあい広場の設置は、10月頃から造成に入り、ふれあい舎の建設や牧柵の設置を行う予定



【中条支所】

中条サポーター養成事業

中条への移住希望者を発掘するため、首都圏の住民を対象とした各種体験ツアーを実施するもの(今年度は「味噌づくり体験」を実施中)

- ◆5月28日、29日第1回ツアーを実施。首都圏から5名の参加。西山大豆の栽培体験
- 8月27日、28日第2回ツアーを実施。首都圏から21名の参加。ジビエの料理体験
- 9月24日 銀座 NAGANO にて PR イベントを開催
- 10月29日、30日第3回ツアーを開催予定



芸術家滞在事業

芸術家を招き、中条音楽堂でワークショップの開催や市美術館での作品制作や展示を行い、地域の活性化に繋げるもの

- ◆海外の芸術家2名(女性2名 イギリス、ドイツ)が9月9日から約2か月間滞在、住民と交流しながら、創作活動をする。
- 10月26日～31日 市美術館展示ホールにて作品発表予定
- 11月3日 「中条むしくらまつり」にて作品発表予定



【第1地区～第5地区】

防災体制整備事業

地域防災力向上のため、3年間で50人の防災リーダー(防災士)を育成するとともに、防災訓練など継続的な活動を実施するもの

- ◆各地区から、防災士資格取得候補者 33人を選出、8月から、順次防災士研修の受講を開始



地域きらめき隊

今年度から、地域おこし活動を強化するため、新たに支援する職員として支所長補佐等を「地域きらめき隊員」に任命、隊員を中心に支所をあげて、地域と協働し「地域おこし活動」に取り組んでいくとしたものです。

隊員には、活動を行う上で、次の行動指針を示しております。

- ・住民自治協議会の自立と自主事業活性化の支援
- ・地域内集会、イベントへの参加
- ・現場巡回(現場重視)による地域資源と課題発掘
- ・地域内におけるコミュニケーション重視
- ・郷土愛の醸成

地域きらめき隊は、地区の自主性を尊重し、自立性を高めながら「住んでよかった」「住み続けたい」地区となるよう共に考え、共に実践していきます。

発行 長野市市民生活部

発行者 地域きらめき隊 隊長 片井靖夫

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地

電話 (直通)026-224-7615 FAX (共用)026-224-8596